



## 地域に密着した食育と オリジナル商品開発への挑戦

菅原 友美 (すがわら ともみ)  
 昴〜うづら〜 会長

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しく-北海道」運動第7回コンクールで奨励賞を受賞した「昴〜うづら〜」会長の菅原友美さんにお話を伺いました。

### 《団体名はキラキラネーム☆彡》

はじめは、農業改良普及センターが「ニューファーマー塾」という農業の勉強会を開いたのをきっかけに、もっと農業を知りたい、勉強がしたいという女性農業者が集まって結成されました。

今年で18年目になりますが、現在は、深川市、妹背牛町、雨竜町、北竜町、秩父別町の女性農業者10名で活動しています。世代は30代~50代の幅広い年齢層で、近年では若い層が厚くなり活気であふれています。

女性ならではの素敵なネーミングは、牡牛座にあるプレアデス星団の昴（六つの星が重なるように見えることから、別名六連星）をイメージし、いろいろな地域に散らばっているメンバーが1つになって、大きな力となることを願い「昴〜うづら〜」と名付けました。



道の駅サンフラワー北竜での店頭販売

### 《親しみのある地域密着型》

主な活動は、北空知給食センターにさつまいもを卸したり、地域の小学校の調理実習の講師、学校行事である小学5・6年生の通学合宿に参加するなど、地元農産物を通して、子どもたちの食育に力を入れています。

通学合宿では、「自立」と「交流」を育むため、1週間親元から離れて生活する小学生が親を招待し、手料理を振舞います。その献立に「生産者がつくる愛食コンテスト」で最優勝賞を受賞した「昴特製パエリア風」のレシピを提供しています。

子どもたちに包丁の使い方から教え、料理の基本をレクチャーし、親元から離れて成長する子どもたちを親と一緒に喜び、楽しんで、まさに地域密着型の女性グループです。

### 《目標はオリジナル商品を世に送り出すこと！》

現在、力を注いでいるのが、昴独自の商品開発です。メンバーはそれぞれ各地域で米や野菜を作っていますが、共通して栽培しているのがさつまいもです。

さつまいもは、温暖化などで道内の生産量が増えており北海道の食文化に育てようと、「さつまいも北海道プロジェクト」が始動しました。昴もこれに参画し、さつまいもを使ったオリジナルの商品を開発しようと、企業の視察に向いたり、試作品を作ったりと、日々奮闘しています。

メンバー各々がやりたいことを昴という組織を活用して、いろんなことをやっていけたらと昴の挑戦はまだまだ続きます。

※当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しく-北海道」運動第1~9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。